

2025 年 11 月 19 日

株式会社イオレ
代表取締役社長 兼 CEO 瀧野 諭吾
(コード番号 : 2334)

2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算説明動画・書き起こし記事公開のお知らせ

株式会社イオレは、投資家の皆様向けに「2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算説明」の動画および書き起こし記事を、下記の通り公開致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 掲載場所 当社ホームページ
https://www.eole.co.jp/ir/library/movie/movie_5rnw5i/
2. 説明者 代表取締役社長 兼 CEO 瀧野 諭吾
3. その他 機関投資家・アナリストの皆様向け決算説明会（質疑応答）は 11 月 28 日（金）12:00～13:00 に開催予定です。
決算説明に関する資料は、以下よりご覧ください。
[2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期） 決算補足説明資料](#)

以 上



皆様こんにちは。株式会社イオレ代表取締役社長兼CEOの瀧野でございます。

本日は2026年3月期第2四半期決算、今期の業績予想、および来期の見通しについてご説明させていただきます。



まずは業績ハイライトです。

2026年3月期 2Q業績ハイライト

- 昨年比で**売上2.2倍**、営業利益も対業績予想**進捗率58%**と好調
- 既存事業については、軒並み好調で昨年対比22.7%の増加
- 今年4月に開始したAIデータセンターは、順調に立ち上がり既存事業と同規模まで成長
- 事業ポートフォリオの最適化により不採算事業の整理を決定

(百万円)

	2025年3月期 第2四半期実績	2026年3月期 第2四半期実績	前期比
売上高	1,590	3,529	121.9%
AI UI事業（既存事業）	1,394	1,711	22.7%
AIデータセンター事業	—	1,500	—
暗号資産金融事業	—	—	—
その他	140	317	23.6%
営業利益	△103	67	—
経常利益	△104	60	—
純利益	△572	61	—

cole inc.

Copyright©2025 cole Inc. All Rights Reserved

3

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

昨年対比で売上2.2倍、営業利益は第2四半期累計としては、2020年3月期以来6期ぶりの黒字となりました。
既存事業については、一部の事業を除いて、軒並み順調で、昨年対比22.7%の増加です。

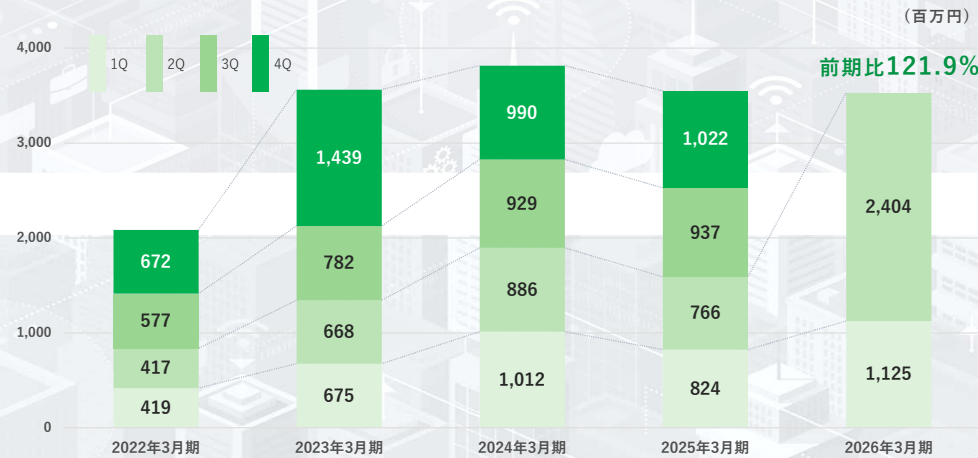
また、4月に開始したAIデータセンター事業ですが、順調に立ち上がり、すでに既存事業と同規模まで成長しました。

「一部の事業を除いて」と申しましたが、不採算となっている、「らくらく連絡網」事業と「旅行」事業については、事業ポートフォリオの最適化により整理を決定しております。

業績推移 — 売上高推移

AI UI事業（既存）においてほぼ全てのサービスが昨年を上回り売上高は31%増加。

4月に参入したGPUサーバーの立ち上がりが好調で、半期時点で昨年度の通期に迫る売り上げ。



補足
 コロナウイルスによる求人
 広告市場の落ち込み
 Web3事業、ペット事業、
 旅行事業に参入

cole Inc.

Copyright©2025 cole Inc. All Rights Reserved

4

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

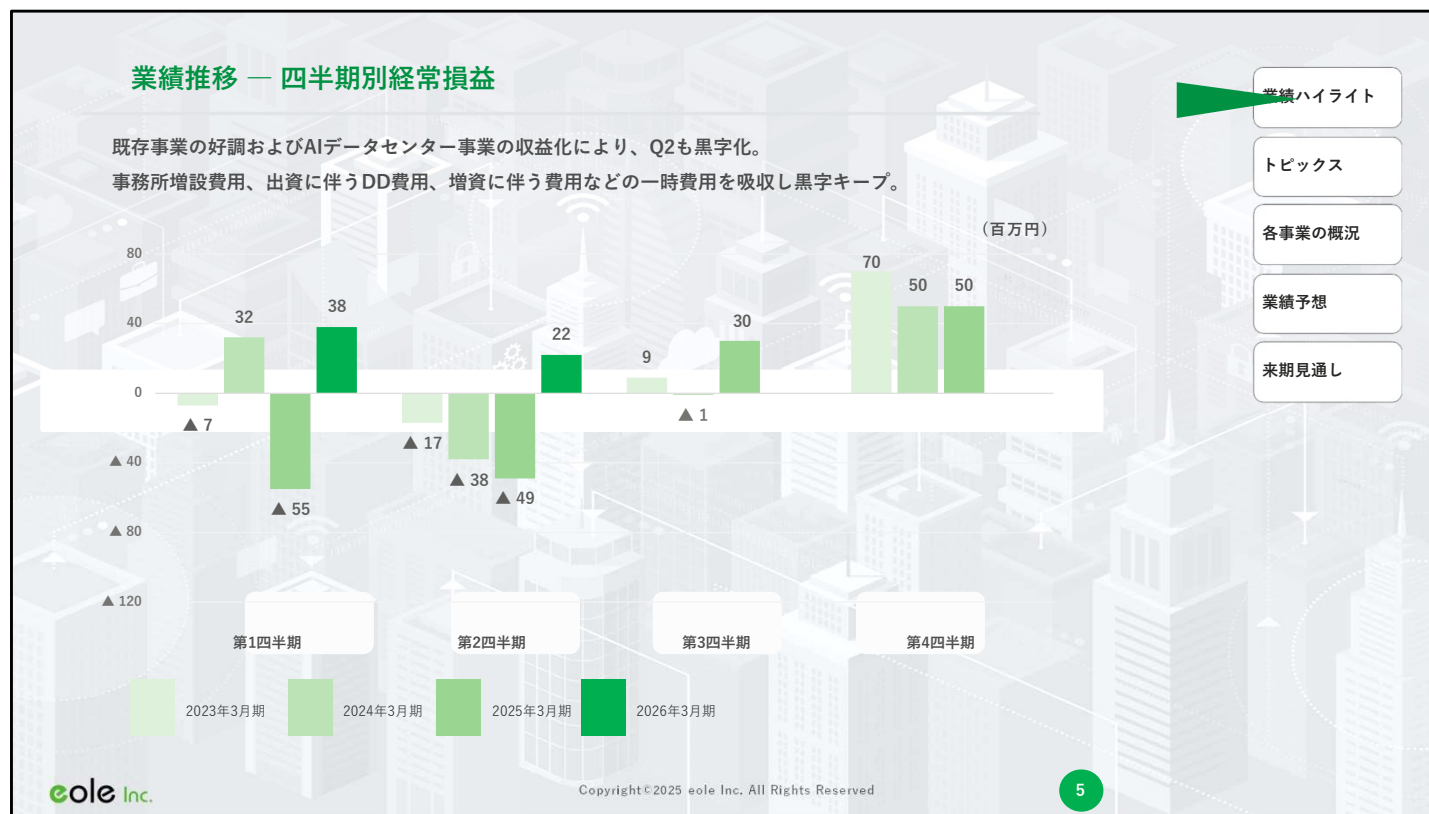
業績予想

来期見通し

こちらの積み上げ棒グラフは、過去5年の売上推移です。

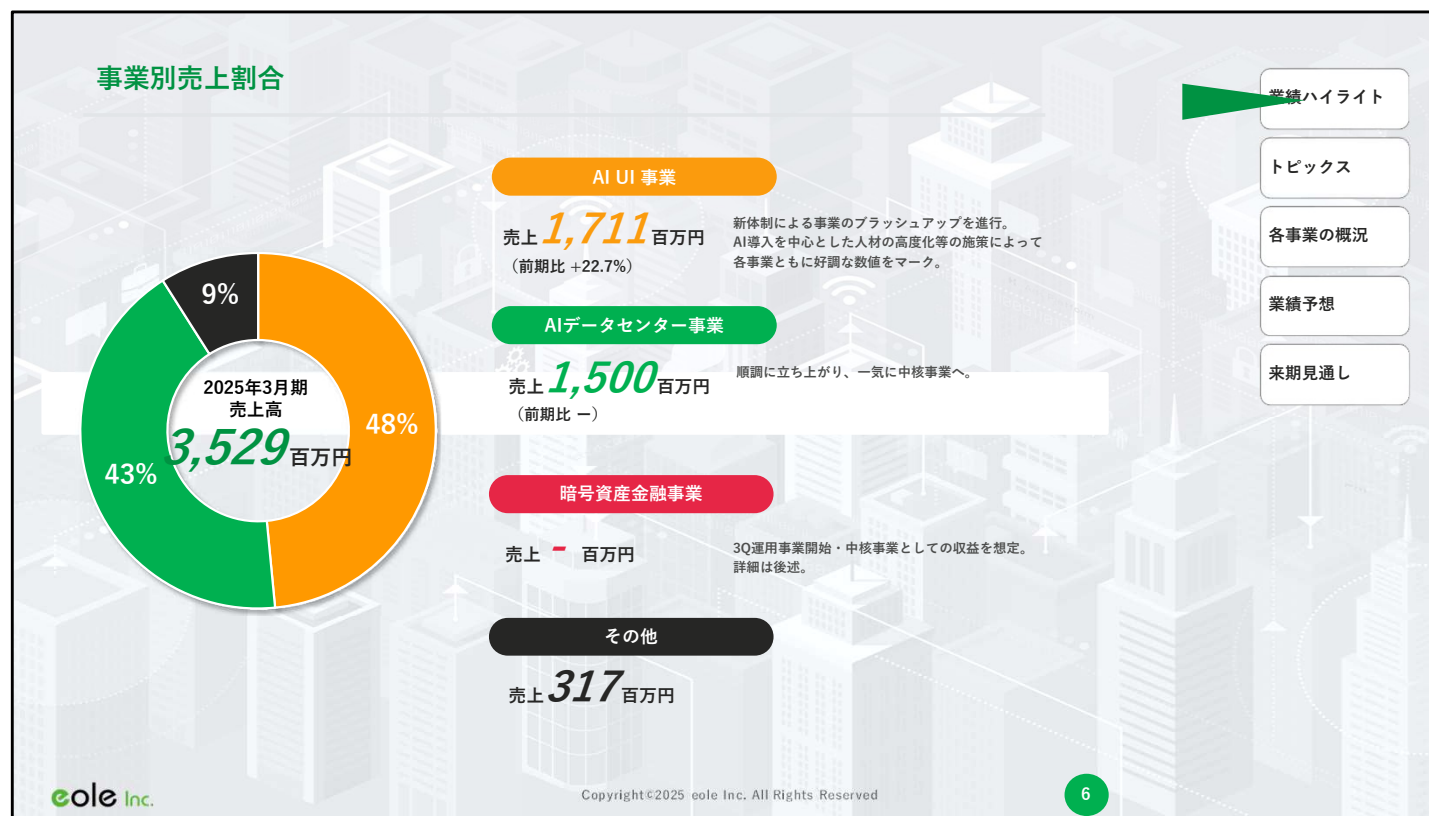
過去最高であった2024年3月期を、1Q、2Q単体においても、それぞれで上回っております。

特に2Qで大きく伸ばしたため、まだ折り返し地点ですが、昨年の通期とほぼ同額の水準までできております。



次に四半期別の経常損益の推移です。当社の既存事業は下半期、特にQ4に売上が偏る傾向があります。
2017年12月の上場以来、これまで第2四半期単体の期間損益では上場した年である2018年3月期の一度しか黒字になっておりませんでした。

今回、上場以来2度目、8年ぶりに第2四半期単体で黒字を計上しております。
第2四半期累計では先ほどご説明した通り2020年3月期に黒字となっておりましたので、6年ぶりとなります。



事業別の売上割合です。

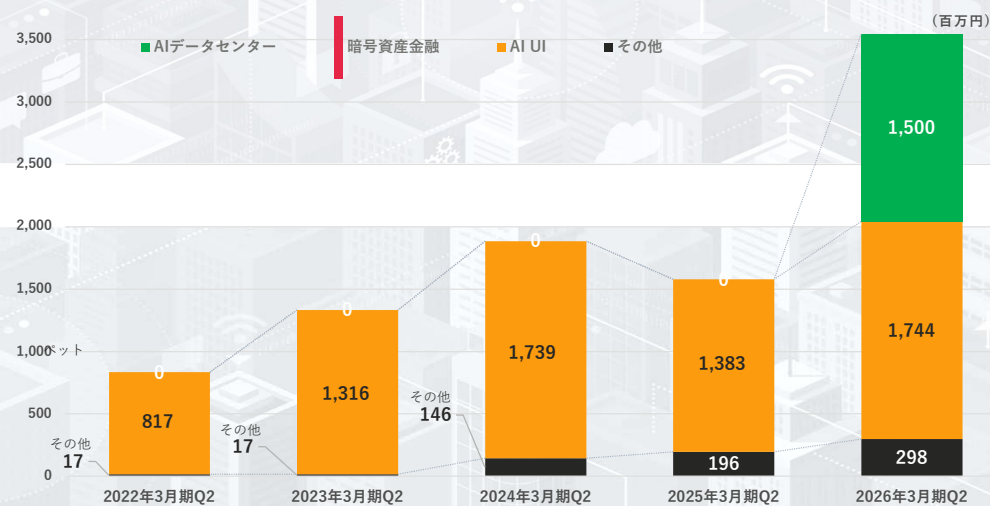
既存事業であるAI UI事業と、今期より開始したAIデータセンター事業がほぼ半々となっております。

暗号資産金融事業については、7月に参入を決議、先月10月に事業戦略発表会を行っております。

Q3に事業開始の予定のため、現在売上はございませんが、今後の見通しについては後述いたします。

事業別売上推移

- AI UI事業(既存事業) は各サービスともに好調で過去最高だった一昨年を上回る実績
- 今期開始したAIデータセンター事業が好調で既存事業と並ぶ規模に成長



※ 2025年3月期以前は現在の事業区分に組み替え算出

cole inc.

Copyright© 2025 cole Inc. All Rights Reserved

7

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

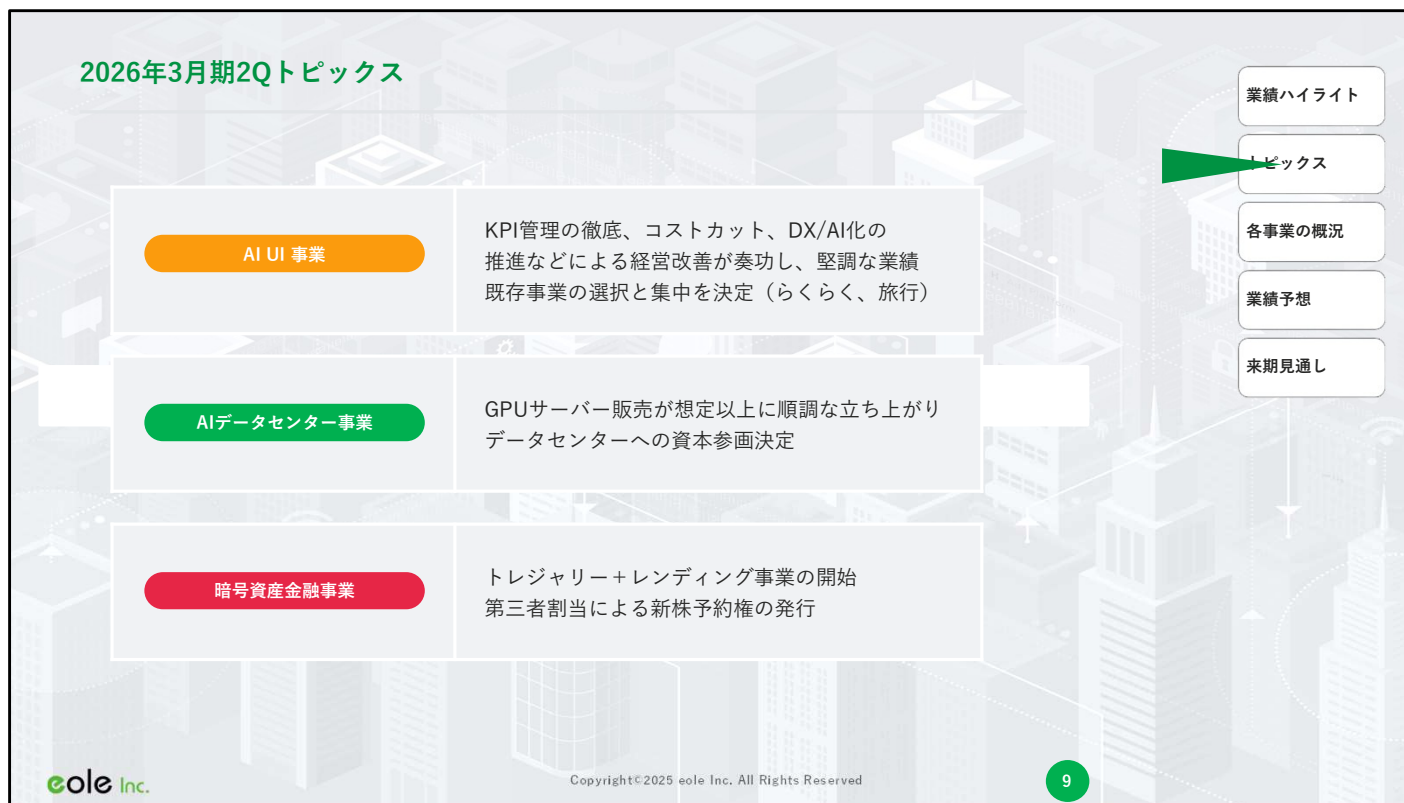
事業別売上を時系列で並べたものです。

AI UI事業は、2024年3月期を若干ながら更新し、過去最高売上となりました。

また、緑色のAIデータセンターが一気に積み上がりまして、売上合計では昨年対比2.2倍となっております。



次に第2四半期のトピックスです。



「AI UI事業」については、コストカット、AI/DX化の推進、KPI管理の徹底などの効果により堅調な業績を達成できております。
また、選択と集中により、「らくらく連絡網」事業、「旅行」事業については、整理をすることといたしました。
「AIデータセンター事業」については、4月15日に事業を開始したGPUサーバー販売が想定以上に順調な立ち上がりを見せております。
「暗号資産金融事業」については、7月にトレジャリー＋レンディング事業の開始を決定し、増資を実行しております。
それぞれ、もう少し詳細にご説明いたします。

AI UI事業（既存事業）

新体制になり、KPI管理の徹底、コストカット、DX/AI化の推進などによる経営改善が奏功し、多くの事業が好調。

事業ポートフォリオの最適化により、らくらく連絡網・旅行については売却・終了を決定。

	（前年同期比）	
	売上高	売上総利益
らくらく連絡網	△18.91%	△19.92%
Pinpoint（販促）	13.73%	18.63%
Pinpoint（採用）	32.90%	23.78%
求人検索エンジン	20.41%	11.27%
ジョブオレ	11.87%	11.87%
HR Ads Platform	69.21%	97.83%
休日いぬ部	52.16%	51.76%
旅行	△13.38%	△6.73%

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

cole inc.

Copyright©2025 cole Inc. All Rights Reserved

10

まず、AI UI事業です。こちらの表は、前年同期比の売上高、売上総利益の増減率です。

ご覧のとおり、軒並み2桁成長となっており、少ないもので12%程度、多いものでは70%程度の売上増加、売上総利益においても、少ないもので11%程度、多いものでは98%程度の増加をしています。

ただ、一番上の「らくらく連絡網」と一番下の「旅行」については、売上、売上総利益ともに減少しております。

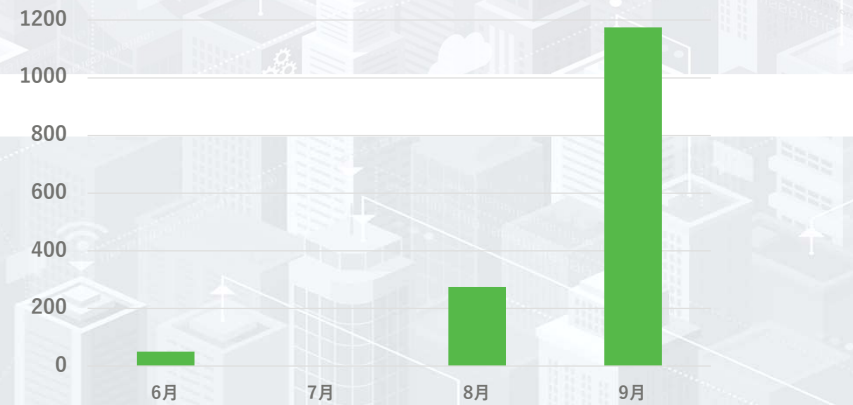
限られたリソースで最大の効果を上げるためには選択と集中が必要であり、この2つの事業については、整理することを決定いたしました。どちらも今年度中には終了を予定しております。

AIデータセンター事業

4月15日より事業を開始し、順調な立ち上がり。代理店開拓の成立により順調な販売実績

売上

(単位：百万円)



ecole Inc.

Copyright©2025 ecole Inc. All Rights Reserved

11

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

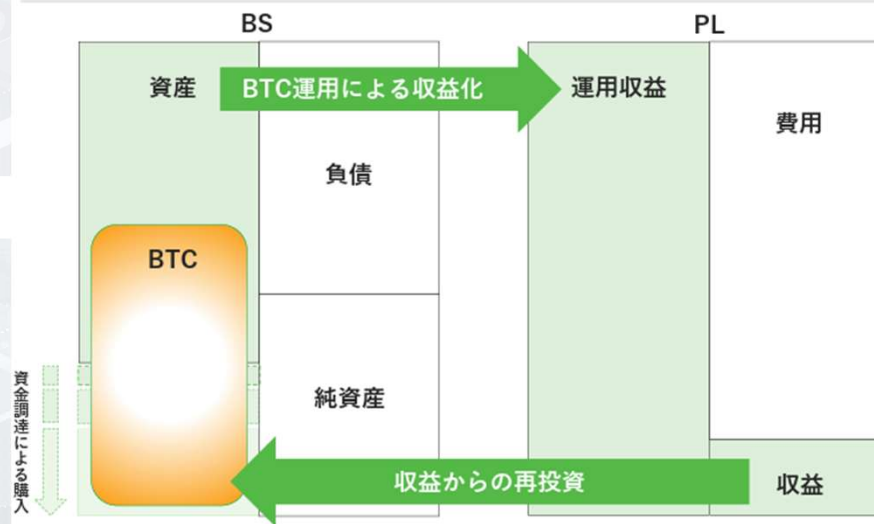
業績予想

来期見通し

こちらはAIデータセンター事業の月次の売上推移です。4月に事業開始して、代理店開拓を進めてきて、6月に売上が上がり始め、9月に一気に増加いたしました。

暗号資産金融事業（7月1日参入を決議）

購入したBTCの運用により、純資産増加→収益拡大の循環モデル



業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

eole Inc.

Copyright©2025 eole Inc. All Rights Reserved

12

次に暗号資産金融事業です。こちらの図は9月9日に開示した増資の補足説明資料の再掲です。

増資によって調達した資金用途は100%ビットコインの購入に使用する予定です。

当社は取得したビットコインの AI、専門人材企業連携を活用した運用による収益化を行い、上がった収益で再度 ビットコインを購入し、さらに運用するという想定をしております。単に ビットコインを保有する以上に収益が高い事業を展開できるということを表している図となります。

資金調達について（9月9日）

本件ファイナンスの目的

調達予定の**約160億円**は、
全てビットコインの購入に充当します。

暗号資産運用事業

BTC運用益により、保有による資産拡大だけではなく、運用収益による利益の拡大を目指す。

暗号資産トレジャリー事業

今回のファイナンスにより
初回の**BTCの購入**を実施し、
自社で**BTCを保有**する。

暗号資産レンディング事業

2026年3月期第3四半期まで
にサービス開始予定。
BTCを借り受ける形で経済
規模を大きく拡大させる。

暗号資産金融事業
の第一ステップで
ある資金調達と運用による**企業価値
の創出**

資産の積み増しだけでは本質的な
企業価値へつながらない

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

ecole Inc.

Copyright©2025 eole Inc. All Rights Reserved

13

こちらと同様に9月9日の増資の補足説明資料の再掲です。

こちらの図については、分母に増資やレンディングにより調達するビットコイン、分子に運用事業を記載しており、運用収益が増えれば増えるほど利益が出るということを意味しております。

既存事業においては第2四半期累計の売上高3,529百万円、営業利益67百万円ですので、売上高営業利益率は約1.9%です。

この利益率を上回る実績を上げることが出来れば、運用すればするほど、企業価値が上がっていくということを示しております。詳細につきましては、後述いたします。



こちらは暗号資産金融事業の全体像を示した図です。

Neo Crypto Bankの実現に向けては当社単独では難しいため、他社との連携を行っております。

開示の件数も多くなり、全体像が分かりにくいというご指摘も頂きましたので改めて、まとめております。

大きくステップが4つあります。まずトレジャリー、次にレンディング、そして運用、最後に活用です。

まずトレジャリーについては、暗号資産の取得と保管のため、SBI VCトレードとFINX J Cryptoなどの暗号資産取引所との連携をいたしました。

つぎにレンディングについては、SBI VCトレード、J-CAMとの提携が挙げられます。

そして、運用については、SBI VCトレード、J-CAMに加え、ZUU、ANIMOCA BRANDS。

最後に、活用については、技術開発・機能連携としてUPBOND、Slash Vision、ANIMOCA BRANDSとなります。

それぞれの段階において提携先と協業しながら進めてまいります。

来期以降の成長に向け下記を決定

1. ポケカル事業（旅行）の閉鎖

2. らくらく連絡網事業の譲渡の方針

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

11月14日に別途開示しておりますが、ご覧のとおり、事業ポートフォリオの最適化による来期以降のさらなる成長のために、2つの事業について整理をすることを決定しております。

1つ目は旅行事業の終了。

2つ目は、らくらく連絡網事業の譲渡です。

どちらも今期中に整理を完了する見通しです。



つぎに各事業の概況です。

これまで、pinpoint、求人検索エンジンは取扱高、HRアド、ジョブオレは求人原稿数などを開示しておりましたが、正直、業績にどの程度連動するのか分かりにくかったかと思います。

当社では、改めて各事業共通のフォーマットで、それぞれ事業ごとにK P Iを設定し、高速でP D C Aを回していく体制を構築しております。社内ではバイネームで詳細に行っておりますが、その一部を記載しております。

個別事業の詳細の説明については割愛いたしますので、後ほどご参照いただければと思います。

事業ごとのKPI管理を徹底し、高速PDCAを回す体制を構築。

売上・利益・利益率・予算対比 ※上期累計

売上 (千円)	180,290
粗利(千円)	92,570 ← 112.3% ※予算対比
粗利率	51.3%
事業利益	20,766

KPI (因数分解) ※9月単月指標

売上額＝顧客社数×単価

※1社が複数媒体での実施の場合も顧客社数1社とカウント

代理店経由	19社×425 (千円)＝8,078 (千円)
直	17社×625 (千円)＝10,633 (千円)
合計	38社×492 (千円)＝18,711 (千円)

KPI (先行指標) ※9月単月指標

- 引合数 (月間)
 - └ 主力代理店：実績16件/目標20件
 - └ 他代理店：実績42件/目標20件
- 代理店キーマン接触率
 - ※現在組織開拓率を分析中
- 引合後の見込み金額 (下期)
 - └ 確定Aヨミ：¥53,569,875 / ¥160,026,091(33%)
 - └ Bヨミ：¥72,929,909 / ¥160,026,091(46%)
 - └ Cヨミ：¥110,445,471 / ¥160,026,091(69%)

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

こちらがpinpointです。

求人検索エンジン

事業ごとのKPI管理を徹底し、高速PDCAを回す体制を構築。

売上・利益・利益率・予算対比 ※上期累計	
売上 (千円)	1,232,217
粗利 (千円)	264,701 ← 114.7% ※予算対比
粗利率	21.5% (当初想定: 23.0%)
事業利益	185,641

KPI (因数分解) ※9月単月指標	
売顧客数×単価=売上 ※増減主要因: 既存上位顧客単価、既存+復活顧客数、新規顧客数	
社数	84社
社単価 (売上/千円)	2,384
増減	既存 81社 / 新規 2社 / 復活 1社 / 解約 3社

KPI (先行指標) ※9月単月指標		
売上に先立って変化が現れるプロセス指標を可視化し、 早期に課題兆候を把握できる体制を構築		
継続率 98% (前月顧客数+当月顧客数)	CPA順守率 90% (主要顧客のCPA/実績+目標)	新規リード数 4件 (顧客問い合わせのみ)

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

そして求人検索エンジンです。

事業ごとのKPI管理を徹底し、高速PDCAを回す体制を構築。

売上・利益・利益率・予算対比 ※上期累計		KPI (因数分解) ※9月単月指標	
売上(千円)	41,120 ← 108.6% ※予算対比	新規既存内訳：新規5～10%、既存90～95% 主要な増減要因： ・ 既存継続率 ・ 営業活動新規開始数 ・ WEBリード経由開始数 ※売上の多くは求人検索エンジンの既存や新規営業活動が影響するため ここで具体的な数字は割愛	
粗利(千円)	41,120		
粗利率	100%		
事業利益(千円)	10,054		
		KPI (先行指標) ※9月単月指標	
		ジョブオレ単体の売上を伸ばすための先行指標を追っていく (リード獲得数とオーガニック応募数)	
		WEB申込数 (リード獲得数)	オーガニック応募数
		9月15件 ※8月10件	9月9,993 ※8月8,096

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

ジョブオレです。

事業ごとのKPI管理を徹底し、高速PDCAを回す体制を構築。

売上・利益・利益率・予算対比 ※上期累計		KPI (因数分解) ※9月単月指標	
売上 (千円)	115,023 ← 120.6% ※予算対比	売上 = アカウント数 × 応募数 × 平均応募単価	
粗利(千円)	46,431 ← 132.7% ※予算対比	代理店経由	240社 × 15応募 × 4,353円 = 15,732(千円)
粗利率	40.4%	直販	104社 × 19応募 × 3,873円 = 7,552 (千円)
事業利益(千円)	▲ 11,150 ※8月ベースの想定	新規既存内訳：新規5～10%、既存90～95%	
		主な増減要因	
		・ 既存継続率（特に大手代理店の継続率） ・ 新規代理店開拓数 ・ メディア原稿連携率	
		KPI (先行指標) ※9月単月指標	
		代理店勉強会実施率	
		月間100万円以上の代理店数推移 ※4月3企業→5月2企業→6月3企業→7月3企業→8月4企業→9月5企業	
		直近3カ月間での勉強会実施率（代理店）	
		78.5%	
		※対象14企業中11企業に対して直近3カ月以内に実施済み。実施率100%を目指す	

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

HRアドプラットフォームです。



次に業績予想についてです。

2026年3月期業績予想（修正）

	2026年3月期 期初発表予想	2026年3月期 前回修正予想 (A)	2026年3月期 通期業績予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A)
売上高 (百万円)	3,887	10,494	12,291	1,797	17.12%
営業利益 (百万円)	50	115	163	48	41.31%
経常利益 (百万円)	48	113	161	47	41.82%
当期純利益 (百万円)	46	108	162	53	49.17%
1株当たり 当期純利益 (円)	1.49	3.47	5.17	1.70	49.17%

ecole inc.

All Rights Reserved

22

業績ハイライト

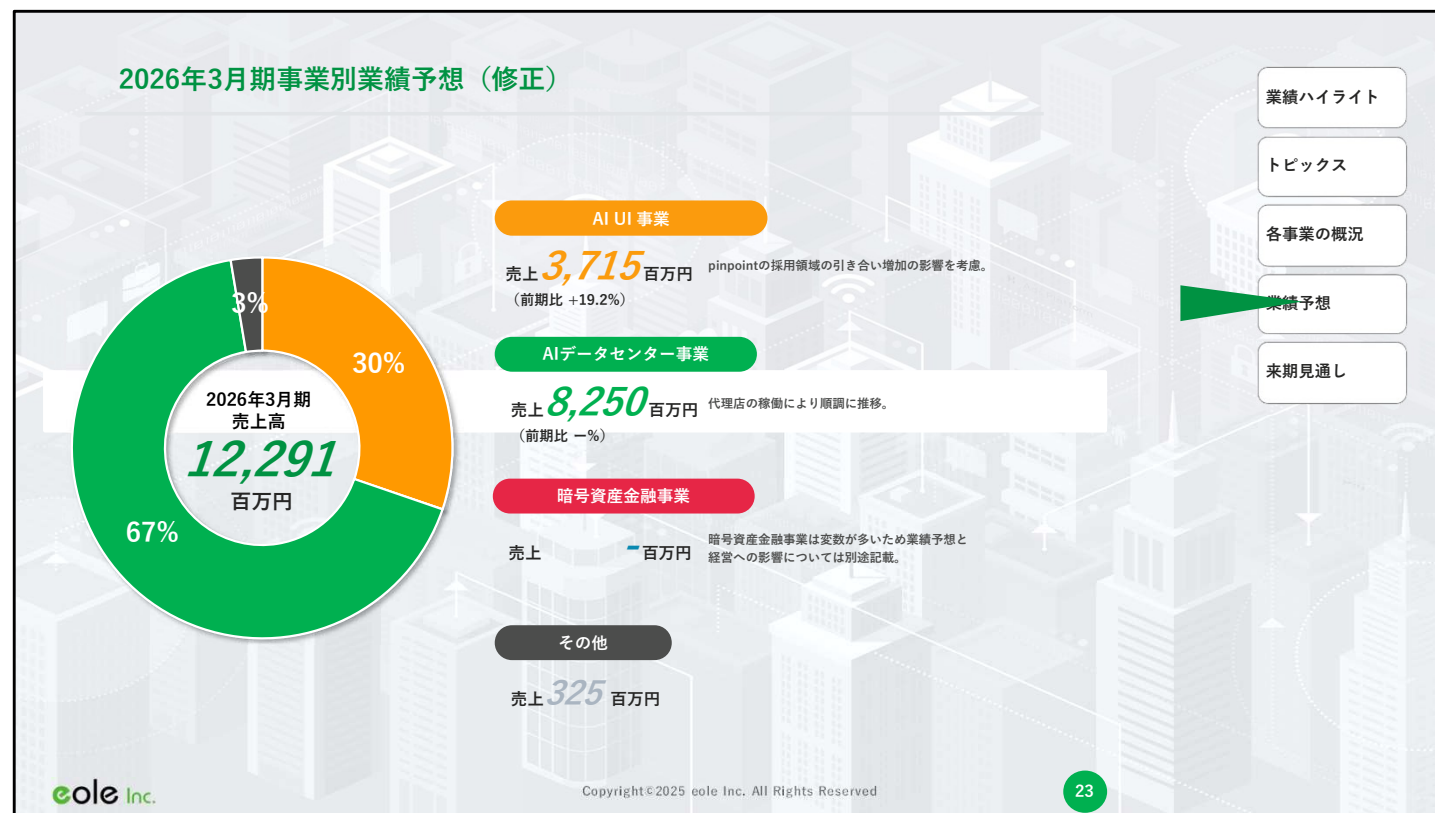
トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

通期の業績予想につきましては、第1四半期に上方修正をいたしましたが、今回2度目の上方修正を行っております。売上高は122億円、経常利益は、創業以来最高値だった2018年3月期の155百万円を上回る161百万円を見込んでおります。1株当たり当期純利益、EPSについては、期初予想1.49円から約3.5倍の5.17円を予想しております。



予想数値ですが、AI UI事業については、前回よりも「らくらく連絡網」事業の譲渡および「旅行」事業の終了を考慮しても、7%ほど上げております。昨年対比では19.2%増を見込んでおります。

また、AIデータセンター事業においては、昨年は事業開始されていないため、前期比はバーと記載しております。Q1時点の予想では66億円で見込んでおりましたが、今回82億円としましたので25%上乘せしております。

業績予想の前提条件

本業績予想は以下のような前提で策定。
基本方針としては、各事業収益性を重視した事業運営を行う。

AI UI事業	マーケット環境：インターネット広告市場、採用環境ともに堅調に推移 Pinpoint：Webマーケティングと新市場開拓による販売強化を実施。Q1は新卒採用系が好調で27%上振れしているものの、需要の前倒しの可能性も加味し、保守的に通期では売上6%増を想定 他媒体広告：pinpointとの併売によりQ1の実績を考慮し、13%増を見込む。 ジョブオレ：既存顧客に前期並みの新規契約を加算。前期10%増を見込む HR Ads Platform：既存顧客に前期並みの新規契約を加算。売上21%増を見込む 求人検索エンジン：審査落ちによる売上減を一定加味するも、Q1の実績及び既存顧客へのアップセル及びクロスセルにより売上11%増を想定
AIデータセンター事業	マーケット環境：事業環境は堅調に推移 GPUサーバー販売：販売事業として代理店の反響大きく、代理店網が拡大。通期売上については、前回予想より25%増を見込む。
暗号資産金融事業	今期業績予想には含めていないが、今後の見通しについての詳細は後述
販管費	成長に向けたメリハリのあるコスト配分を行う 人件費：継続成長に向けた暗号資産金融業、AIデータセンター事業の採用強化に伴う人件費増加 その他：新規事業の認知度向上のための広告宣伝費増加

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

業績予想の前提条件については、ご覧のとおりですので、割愛いたします。

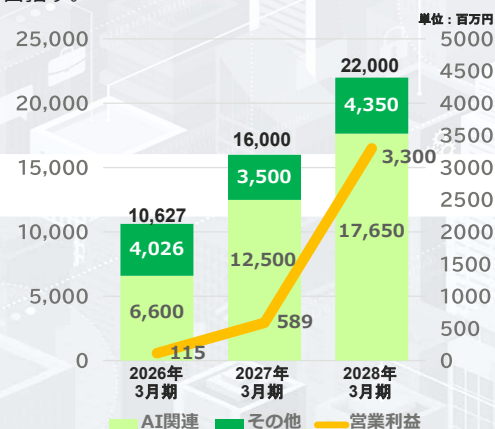


最後に少し早いですが、来期つまり2027年3月期の見通しについてもご説明いたします

中期経営計画サマリー

(再掲)

•収益性を重視した既存事業に加え、AI関連事業（GPU含む）を織り込み見直し。
27/3期は投資フェーズ、28/3期は収穫。28/3期は売上高220億円、営業利益は33億円を目指す。



新中計 事業戦略方針

- 1 AI Merge Japan - AI関連事業
- 2 Neo Crypto Bank - 暗号資産金融事業
- 3 業務AI/DX化

2026年3月期の施策

- 1 AI関連事業の確立
- 2 暗号資産金融事業の立ち上げ
- 3 既存サービスの選択と集中

※暗号資産金融業については資金調達状況、相場により大きく変動するため、数字は含んでおりません。今後の事業の状況を見てアップデートいたします。

cole Inc.

Copyright©2025 cole Inc. All Rights Reserved

26

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

中期見通し

こちらは、8月14日に開示いたしました中期経営計画の再掲となります。

2027年3月期については、暗号資産金融事業を含まずに、売上高160億円、営業利益は5億8,900万円としておりました。

来期の見通し（暗号資産金融事業含まず）

	26年3月期	27年3月期		
		見通し	伸長率	中計
売上高（百万円）	12,291	19,293	57.0%	16,000
営業利益（百万円）	163	627	284.6%	589
経常利益（百万円）	161	625	288.5%	587
当期純利益（百万円）	162	522	222.9%	490
発行済株式数（百万株） ※25年4月14日時点	31	31		31
EPS（円） ※25年4月14日時点前提	5.1	16.6	225.5%	15.7
発行済株式数（百万株） ※ワラント完了前提	51	51		51
EPS（円） ※ワラント完了前提	3.1	10.14	227.1%	9.51

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

cole inc.

Copyright©2025 cole Inc. All Rights Reserved

27

先ほどご説明した通り、今期通期業績については2回目の上方修正を行っております。
27年3月期についての見通しですが、売上高192億円、営業利益6億2700万円ですので、中計を上回るペースを見込んでおります。
EPSについては、2度目の上方修正後の数字と比較しているため3倍程度ですが、期初の業績予想ベースでは1.49円でしたので、これと比較すると11倍の見込みとなります。

2027年3月期 業績予測サマリー（修正）

AI UI 事業	売上高:38億円（昨対103%、廃止事業分を除くと112%） 事業利益:2.3億円（昨対188%） AI活用・DX推進の強化、構造改革効果がフルイヤーで寄与
AIデータセンター事業	売上高:125.5億円→174億円 事業利益:4.7億円→7.4億円 重点施策:直販チャネル拡大、代理店の稼働率改善、粗利率改善、案件獲得の増速 変動要因:GPUサーバーの仕入価格の変動 リスク管理:GPUサーバーの安定供給の確保
暗号資産金融事業	利益貢献レンジ：5億円～43億円 変動要因:資金調達の度合い、BTC価格、運用収益率（レンディング等） リスク管理:与信・担保設計、流動性確保、遵法体制の強化

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

長期見通し

eole Inc.

Copyright©2025 eole Inc. All Rights Reserved

28

2027年の見通しです。

AI UI事業は、廃止事業分を除くと売上は12%成長、事業利益については採算が改善し、1.9倍を想定しております。

AIデータセンターについては、足元の伸び率から当初予定を見直し174億円とし、それに伴い利益も増やしております。

最後に暗号資産金融事業ですが、調達額により変動するためレンジで記載しておりますが、5億円～43億円の見込みとなります。

詳細については、後述いたします。

利益押上げ要因（来期）

要因1：AIデータセンター事業の急進

直販チャネルの拡大により粗利率が改善。

受注・納品サイクルの高速化。

要因2：暗号資産金融事業の利益貢献開始

取得・保有した暗号資産の運用(DAM)の開始。

暗号資産レンディングサービスのローンチによる事業スケール。

要因3：AI UI事業(既存事業)の構造改革による利益構造改善

事業ポートフォリオの最適化(らくらく、旅行の譲渡・終了)

AI導入による人材の高度化をはじめとした組織改革。

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

利益押上げ要因としてはご覧のとおり3つあります。

まず、AIデータセンター事業については、直販チャネルの拡大により粗利率の改善を見込んでおります。また受注・納品サイクルの高速化により、これまで納期の都合で見送りになっていたお客様にお応えできるようになり、受注率向上を見込んでいます。

次に暗号資産金融事業については、Q3より取得した暗号資産の運用を開始いたしますので、これによる利益貢献が期待できます。

レンディングサービスのローンチにより、運用規模の拡大を行います。

最後に、AI UI事業については、不採算事業である旅行、らくらく連絡網の終了による収益改善と、AI導入による人材の高度化をはじめとした組織改革により、1人あたりの付加価値向上を実現いたします。

Appendix：資金調達に関する当社の考え方

・昨日（2025年11月13日）、Bloombergにて日本取引所グループ（JPX）が、ビットコイン・トレジャリー企業を含む暗号資産保有企業に対し、いわゆる裏口上場やガバナンス上の不備を防止するための規制強化を検討している、との報道がなされました。

・“関係者らによれば、JPXが暗号資産トレジャリー企業に対する規制強化の方向にかじを切ったのは、日本の関連企業の株価が急落し、個人投資家などが損失を被ったとの懸念から”とのことだそうです。

・【当社の姿勢】

・当社はこれまでJPXから暗号資産の購入計画について反対の意見を述べられたことはありません。暗号資産金融事業開始当初よりガバナンスの重要性については十分に認識しており、関係当局や担当省庁での役職者など、専門性の高い有識者にプロジェクトに参画していただいていることに加え¹、事業提携の方針としても、健全な企業成長を目指すべく内容に沿うよう慎重にプロジェクトを推進してまいりました。

・また、当然ながら当社は株主の皆様の利益を最重要項目の1つとして捉えており、本源的な株主価値の向上は事業成長によるEPS成長が重要と考えております。

・これらの前提となる基本方針から、株主価値を毀損するようなEPS成長の見込めない無理な資金調達計画は企図していません。
・資金調達はあくまで企業価値を成長させ、ひいては株主価値を成長させるためと考えており、今回²の新株予約権による調達も株主価値の向上に資すると判断し、意思決定しております。
（詳細を次ページでご説明いたします）

・結果的に、今回²の新株予約権の行使が進まない場合が生じた場合でも、下限行使価格をさらに下げた上での新たな新株予約権の発行については現在計画しておらず、借入やCBなどの多様な手法を用いて資金調達を進める方針です。

1. 適時開示参考：TMI総合法律事務所との事業開発体制への参画に関する委任契約締結のお知らせ 暗号資産金融事業の推進体制に係る外部有識者の参画のお知らせ

2. 第14回、第15回新株予約権

cole inc.

Copyright©2025 cole Inc. All Rights Reserved

30

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

長期見通し

こちらのページですが、先週木曜日にブルームバーグにより報道された内容に対する、当社の考え方です。

記事の内容は、暗号資産保有目的による増資を認めなかったケースがいくつかあり、規制の方向に動いていること。規制強化の方向に舵を切ったのは、関連企業の株価が急落し、個人投資家などが損失を被った懸念から、とのことでした。

当社の増資もビットコイン保有目的でしたが、規制されることなく9月に増資を行っております。当社はガバナンスの重要性について十分認識しており、専門性の高い有識者にプロジェクトに参画いただいていることに加え、事業提携の方針としても、健全な企業成長を目指すよう慎重に推進しております。また、既存の株主の皆様の不利益にならないよう、調達資金に見合う事業成長による株式価値の向上を目指しております。

今回の資金調達についても、十分に株主価値の向上に資するものと判断し意思決定しております。こちらについては、詳細を次のページでご説明いたします。

また、結果的に行使が進まない事態になったとしても、下限行使価格をさらに下げた新株予約権の発行は現在計画しておりません。

暗号資産金融事業における資金調達によるEPS向上効果 (第14回新株予約権でのイメージ例)

行使ごとの運用収益効果を考えると、行使が進み発行済株数が増えることでEPSは向上していく

予約権行使1株ごとの経済性
(行使価格=400円の場合)

行使価格	400円
X	
運用利回り	8% ¹
X	
1-実効税率	65% ²
II	
当期純利益増分効果	21円増 > 5.17円

今期予想
EPS

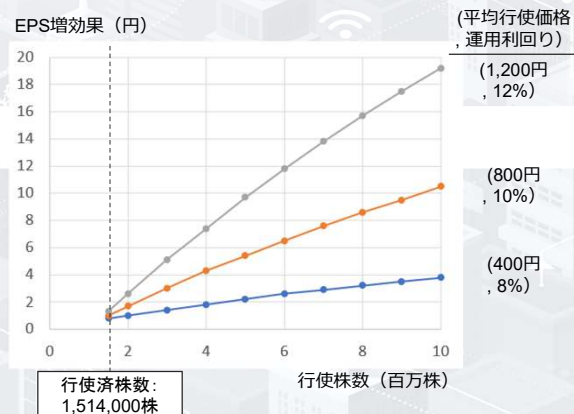
1株行使されると21円当期純利益が増える
そしてそれは今期のEPSより高い
→ 行使によりEPSは希釈化せず、むしろ増加

1. 提携先J-CAM社が提供する、3年以上運用実績のある個人向けレンディングサービスでの貸借料率
2. 簡便のため実効税率を35%として試算（当社の実績値ではない）
3. 実効税率35%としたときのシミュレーション

cole Inc.

行使株数ごとのEPS増効果³

(26年3月期の予想EPSからの増分シミュレーション)



Copyright © 2025 cole Inc. All Rights Reserved

31

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

長期見通し

こちらが資金調達によるEPS向上効果の説明資料です。

まず左側の経済性です。行使価格は、下限行使に近い400円と仮定、

運用利回りについては、J-CAMが個人向けに提供している貸借料率、実効税率35%で試算した場合の計算です。

掛け算すると、1株当たりの当期純利益の増分効果は21円となり、今期予想EPS5.17円を上回ります。

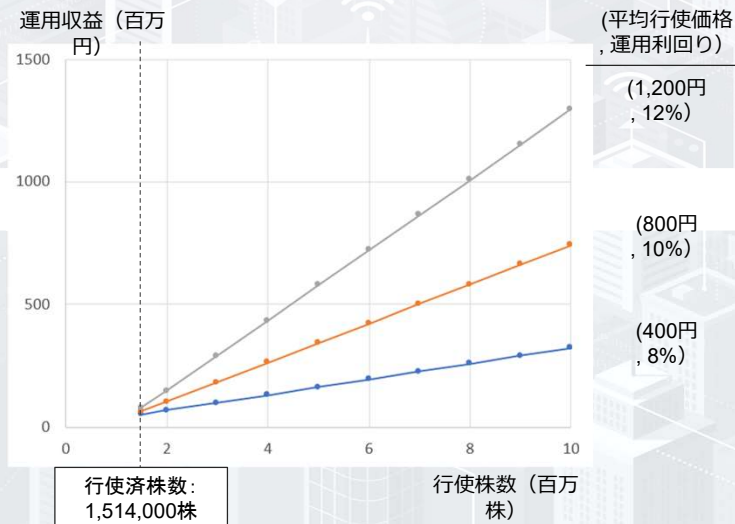
したがって、EPSはむしろ増加いたします。

仮に行使価格が400円で、利回りが8%で第14回の予約権すべて行使された場合、EPSは4円増えます。

同様に800円で10%なら10円、1,200円で12%なら19円EPSが増えますというのを示したものが右側のグラフです。

(参考) 調達資金の運用による収益 (第14回新株予約権でのイメージ例)

行使が進むにつれ運用収益も拡大していく



行使済株数:
1,514,000株

(平均行使価格
運用利回り)

(1,200円
12%)

(800円
10%)

(400円
8%)

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

長期見通し

cole Inc.

Copyright©2025 cole Inc. All Rights Reserved

32

次に運用収益の額です。

行使価格400円で、収益が8%のケースで、3億2000万円、

800円で10%なら8億円、1,200円で12%なら14億4000万円の収益が上がります。

来期の見通し（暗号資産金融事業込み）

	26年3月期	27年3月期					
		低位	伸長率	基準	伸長率	高位	伸長率
売上高（百万円）	12,291	20,713	68.5%	22,760	85.2%	28,283	130.1%
営業利益（百万円）	163	1,122	588.1%	2,166	1228.0%	4,952	2935.7%
経常利益（百万円）	161	1,120	596.1%	2,164	1244.6%	4,950	2975.5%
当期純利益（百万円）	162	935	477.2%	1,988	1127.2%	4,314	2563.0%
発行済株式数（百万株） ※25年4月14日時点	31	31		31		31	
EPS（円） ※25年4月14日時点前提	5.1	29.91		63.59		137.99	
発行済株式数（百万株） ※ワラント完了前提	51	51		51		51	
EPS（円） ※ワラント完了前提	3.1	18.17		38.63		83.81	

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

cole inc.

Copyright © 2025 cole Inc. All Rights Reserved

33

こちらがこれまでの説明を踏まえて、暗号資産金融事業込みの見通しです。個人向けレンディングサービスなども考慮に入れております。

増資の進捗およびレンディングサービスの状況により変動するため、暗号資産金融事業部分について、3段階の想定で幅を持たせております。

保守的に見ると売上高207億円、営業利益11億円となり、理想的には、売上282億、営業利益49億円となります。

免責事項

本資料は、株式会社イオレ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としておりますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合がございます。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。

業績ハイライト

トピックス

各事業の概況

業績予想

来期見通し

以上、第2四半期の決算、通期業績の見通しの説明に加えて、今回は、来期の見通しまでご説明させていただきました。

ご清聴ありがとうございました。今後とも株式会社イオレをよろしくお願いいたします。